

平成 27 年 11 月 発行

編集・発行

さつま町消防本部

鹿児島県薩摩郡さつま町時吉 366

Tel 0996-52-0119

Fax 0996-53-0119

Web <http://119.satsuma-net.jp/>

mail shobo@satsuma-net.jp



防火への誓いあらたに
恩光保育園幼年消防クラブ結団式

主な内容

- 1 ページ……非常事態発令～火災の死者急増～
- 2 ページ……秋の全国火災予防運動
火災調査ファイLVol.4
- 3 ページ……危険物についてのお願
消太君の消防一ロメモ
- 4 ページ……消防団のページ
- 5 ページ……急流救助訓練・集団救急事故訓練実施
消防ほつと写真館

平成27年度全国統一防火標語

無防備な
心に火災が
かくれんぼ

非常事態発生!



※写真提供 広島市消防局

さつま町では、今年10月25日現在10件の火災が発生しています。さらに、火災による死者が3名(後日亡くなられた方を含めると4名)も発生する緊急事態となっています。

この火災による死者のうち2人は、いずれも深夜に発生した建物火災によって命を落とされています。

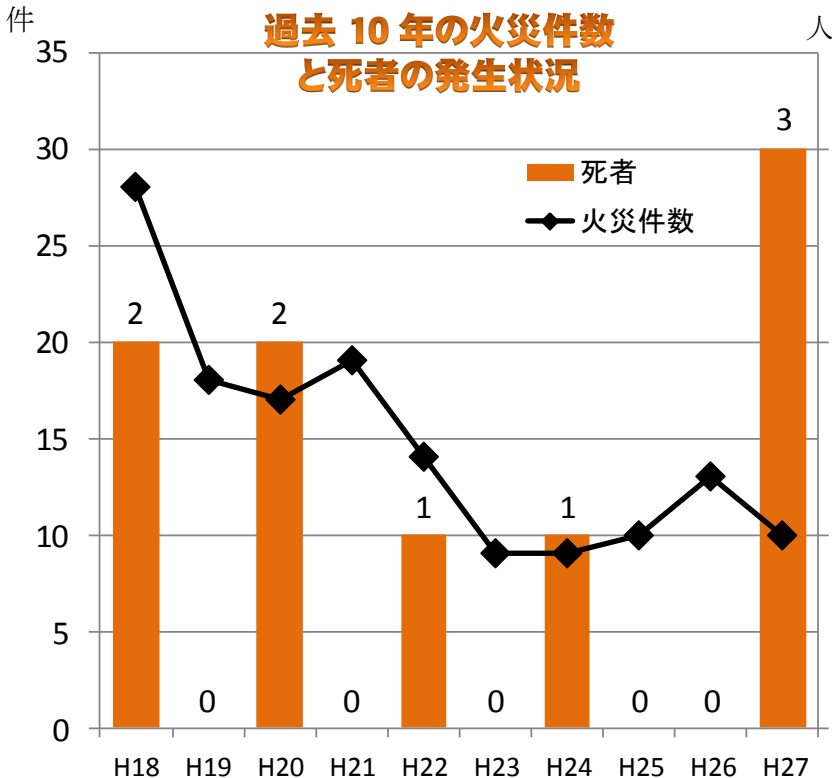
ちよっとした「油断」で家財だけでなく、命までも奪うのが火災です。ですが、ちよっとした「心掛け」で大切な家族の命と財産を火災から守ることができます。日頃からの火災予防をより一層お願いします。

住宅防火

命を守る七か条

- 家のまわりに燃えやすいものを置かない
- 寝たばこやたばこの投げ捨てをしない
- 火気使用時には、その場を離れない
- 電気器具は正しく使い、たこ足配線はしない
- コンセント周りにほこりが溜まらないようにする
- 動作が悪かったり、異音のする電気機器は使用せずコンセントを抜いておく
- ストーブ等の暖房器具や仏壇のロウソク等に、燃えやすいものを近づけない

過去10年の火災件数と死者の発生状況



※放火自殺者は除く

秋の全国火災予防運動実施

11月9日から15日まで
の一週間、秋の全国火災予
防運動を実施します。

これから火災が発生し
やすい時季を迎えること
から、より一層火災予防に
努める必要があります。ま
た、特に高齢者を中心とす
る死者の発生を減少させ
ることが大切です。

そこで、消防本部では期
間中に様々な機会を通じ
て、住民の皆さんに火災予
防をPRしていきます。



昨年の防火パレードの様子

●防火パレード

日時：11月14日(土) 10時
10分スタート

区間：JA北さつま農協本
所から八坂神社前

参加団体：消防団(川原・
虎居・中央)・吉祥保育園
幼年消防クラブ・消防署
さつままるちゃんもパレ
ードに参加予定です！

●JA北さつま農業祭

日時：11月15日(日) 8
時40分～12時

イベント内容

- ① 一日消防署長(観光大使
かぐや姫に委嘱)
- ② 旭保育園幼年消防クラ
ブによる芸能大会参加(火
災予防啓発活動)
- ③ 防火広報物品の配布
- ④ 消防自動車展示
- ⑤ 煙体験ハウスによる濃
煙体験

●写生会作品展示

保育園児の描いた消防
車の作品を展示します。

①日時：11月14日(土)

場所：鶴田中央公民館(鶴
田地区文化祭)

②日時：11月22～23日
(日・月)

場所：宮之城武道館(宮之
城地区文化祭)

③日時：11月28日～29日
(土・日)

場所：薩摩農村環境改善セ
ンター(薩摩地区文化祭)

火災予防運動7キメモ

119番の語呂合わせ
で11月9日を「119番の
日」としており、この日を
始まりとして秋の全国火
災予防運動が行われるよ
うになっています。

また、1952年以前は
「全国火災撲滅運動」と呼
ばれていたようです。



さつま町で最多の火災原因とは？

〜土地柄が大きなヒントです〜

さつま町内で発生した
これまでの火災で、毎年
のように火災原因第一位
となるものがあります。

です。たき火・火入れを行
う際は下記の項目に注意
して行ってください。

それは「たき火・火入
れ」による火災です。平
成以降の二十六年間で

「たき火・火入れ」が火
災原因の一位にならなか
ったのは、平成3年と平
成10年のたった二回だけ
で、それ以外はずっと火
災原因第一位です。

農業が盛んな土地柄も
あって農繁期前ともなれ
ば、あちこちでモクモク
と白い煙が揚がっている
光景を目にします。さつ
ま町を成す豊かな自然や
田園風景はまさに山紫水
明という言葉がピッタリ
ですが、ちょっとした油
断でその光景を一瞬にし
て恐怖に変えるのが火災

乾燥注意報や火災気象
通報等が出ているときや、
風の強いときは行わない

◆水バケツ、消火器等によ
る消火の準備をする

◆多量の煙が出ると思わ
れる場合は、事前に消防署
に届け出る(※火災と紛ら
わしい煙等の届出等)

◆火を消すまで、その場を
離れない

◆火の粉が飛ばないように
に少しずつ燃やし、着衣へ
の着火に注意する

◆完全に火が消えたこと
を確認する

さつま町で発生した
これまでの火災で、毎年
のように火災原因第一位
となるものがあります。



「危険物」についてのお願い

軽油の運搬

灯油用ポリエチレン容器（携行缶）に軽油を入れて運搬することはできません。



セルフスタンド

セルフスタンドでは、自動車・バイクなどへの給油以外に、利用者が自らガソリンを容器（ドラム缶・携行缶）に入れる行為は、消防法令で禁止されています。

灯油用の容器は、「灯油専用」に製造されている容器のため、軽油を入れることを想定されていません。軽油を容器で運搬する際には消防法に適合した金属製容器を使用するようにしてください。ただし、ガソリンなどとの誤使用を防ぐため、容器に『軽油』として表示してください。

セルフスタンドで携行缶等に入れる際は、必ず従業員に依頼してください。また、容器を車内に入れて運搬する場合は、金属製の容器に限り、その最大容量は22ℓ以下と決められていますのでご注意ください。



リコール情報

HPに掲載中

世の中にはさまざまな製品が発売されていますが、その中にはメーカーから事故や火災となる危険性があり、リコールが発表されている製品があります。

消防本部のホームページにも、消防庁から通達があったりリコール情報が多数掲載されています。

これらの製品から火災になる危険性も指摘されていますので、ぜひ一度ご覧いただき、該当製品をお持ちの方は速やかにリコールの手続きを行ってください。

「トリアージ」ってなに??



消木くんの 消防一口メモ

新聞などで「トリアージ」ってことは聞いたことがありませんか？

◆トリアージとは？

重大事故や災害などで一度にたくさんの方が負傷者が発生した時に「ケガの程度」により、現場や救護所などでの治療や、医療機関への搬送の順位を決めること」をいいます。

◆なぜ順位を付ける必要がある？

トリアージを行わず、やみくもに搬送した場合、重症な傷病者が長時間放置されたり、病院が軽症者であふれてしまふ、といったことが起こります。

◆誰が行う？

救急救命士などの救急隊員やドクターヘリの医師などが行います。

◆ご理解とご協力を！

トリアージは事故などの特殊な状況の中、可能な限り多数の傷病者の救命を目指すものです。そのため、緊急な処置を必要としない軽症の人などは、病院への搬送を長時間待ってもらったりする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いいたします。



仕事終わりに訓練に励む東部方面隊の団員たち



規律訓練 奮闘中!
 新春をかざる消防出初式に向けて、仕事終わりのにもかかわらず午後7時30分から訓練に励んでいます。出初式本番では、一糸乱



説明に耳を傾ける団員たち

小型ポンプを更新
 東 義弘時吉分団長
 指揮者
 配備後19年が経過していた山崎分団と神子分団の小型ポンプが、このほど最新式のポンプに更新されました。業者による取り扱い説明のあと、さつそく試運転を行い習熟に努めました。

れぬ訓練が見られますので、ぜひご来場ください。

訓練方面隊

宮之城東部方面隊（中央分団・虎居分団・川原分団・時吉分団・湯田分団・佐志分団・船木分団）

風水害に備えて

今年も各地で水害に見舞われました。それに備えるべく川内川水防演習が行われ、様々な水防工法を訓練しました。



土のう積みの本番さながらに訓練

水難救助 合同訓練

さつま町消防団は、全国的にも珍しい消防団による水難救助隊が組織されています。

このほど救助用ボートが配備されている川原分団・柏原分団との合同の訓練が実施されました。浮環を使って実際に水中から要救助者を



溺者を慎重に引き寄せて救助

引き上げる訓練を、本番さながらに実施しました。

消防団員 随時募集中!
 さつま町消防団では、男女を問わず消防団員を募集しています。消防団員は、火災や風水害などの災害から地域住民の生命・財産を守る重要な役割を担っています。消防団はあなたの力を必要としています。ぜひ消防団に入団しませんか?
 ◆入団資格
 18歳以上で健康な方（男女は問いません）
 町内に居住している又は町内に勤務されている方
 ◎お問い合わせ 消防団係

けが人多数発生!

「さつま町役場で火災が発生し、多数の負傷者が発生した」との想定で、役場の避難訓練と合同で集団救急事故訓練を実施しました。訓練では、役場の自衛消防隊が庁舎内の避難誘導と消火栓を使った初期消火を実施。その後到着した消防隊と救急隊により、けが人の搬送やトリアージが行われました。

多くの人が出入りする施設では、今回のような多数

急流に流された!

急流河川は、流れが速く、水流の特性も通常の河川と異なるため、潜水やボートでの救助が困難となります。そこで、水難救助訓練の一環として、急流救助の方法を訓練しました。

まず、急流の特性や危険性について研修した後、実際に河川を使って、スローバックによる救助と、隊員が泳いで要救助者を確保する方法を訓練しました。

の傷病者が発生する可能性があることから、今後も訓練を重ねていきます。



けが人を担架で救出

隊員の用手による救助



スローバックによる救助



消防ほっと写真館



2015.05.12~14

普通救命講習で心肺蘇生とAEDの使い方を訓練
【宮之城中職場体験学習】



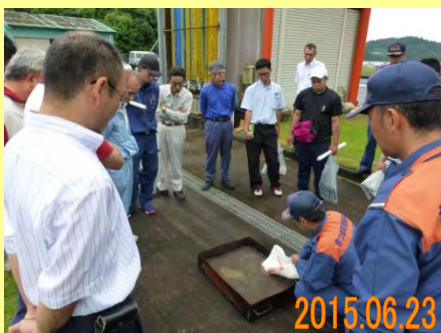
2015.05.17

防災関係者が一同に会し、防災気象情報等について学びます。
【防災・減災フォーラム】



2015.05.29

県下各消防本部の精鋭に臆することなく、競技に集中!
【県救助技術指導会】



2015.06.23

町内の危険物施設関係者が、漏えい時の対応を合同で研修
【危険物安全協会合同研修】



2015.06.31~07.02

地上5m、自分の腕力とバランス感覚で挑戦
【山崎中職場体験学習】



2015.09.28~30

水圧に耐えて放水中。女子だって負けていません!
【鶴田中職場体験学習】